

令和6年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

On your mark ～next100～

多様化する社会の諸問題と主体的に向かい合い、さまざまな課題を解決できる人材を育てます。

1. 体育・スポーツ分野のさらなる特化（学内連携のもと体育・スポーツを通じて社会に貢献できる人材を育成します。）
2. 多様な進学実績（グローバルな社会で活躍する人材の育成と学力養成の環境を整え、有名私大をはじめとした多様な進学先をめざします。）
3. ICT化の推進（次世代教育に対応するために学内のICT化環境及び教育を強化します。）

2 中期的目標

1 生徒個々に応じた学力の向上

(1) 授業力の向上：コースの特色に応じた授業が展開できるよう工夫していく。

- ア 「少人数授業」を活かし、「わかる授業」を推進していく。また、授業アンケート等を活用し、「授業力の向上」を図る。
- イ ICTを活用した授業を積極的に進めていく。令和4年度より授業支援アプリを導入。研究・研修を行い、ICT化を進めていく。
- ウ 成績不振者に対する指導を充実させ、基礎学力の定着を図り、家庭学習の習慣を確立させる。

*** 生徒向け学校教育自己診断における「授業はわかりやすいですか。」(令和3年：80%)を令和6年には85%以上にする。

☆令和6年：89% 達成

(2) 授業にとどまらず様々な場面での学習環境を整備する。

- ア 漢字検定・英語検定・数学検定の受検対策を行い、目標達成に向けて意欲的に取り組ませる。
- イ 図書室や学級文庫の利用率を上げ、幅広い知識の習得をめざす。

*** 検定の合格率を向上させ、漢字検定・英語検定については卒業までに全員が3級以上取得をめざす。☆未達成

(3) 生徒の自主的な学習態度を養う。

- ア 「浪商塾（放課後学習サポート）」をより充実したものにし、自主的な学習につなげていく。
- イ 主体的・協働的な学びを通して発表の機会を増やすことで、「自ら考え、自ら行動する」ことができる生徒を育てる。

*** 生徒向け学校教育自己診断における「毎日、家庭学習をしていますか。」(令和3年：58%)を令和6年には70%以上にする。

☆令和6年：71% 達成

2 生きる力の育成

(1) 規律ある学校生活を送り、生徒会活動などを通じて自主自立の精神を育てる。

- ア 「浪中ルール」を徹底し、生徒の規範意識を高めていくとともに、教員の組織的・統一的な指導を行う。
- イ 挨拶・服装等の指導強化に取り組む。

*** 生徒向け学校教育自己診断における「本校では、社会のルールや命の大切さを学ぶ機会がありますか。」(令和3年88%)を令和6年には90%以上にする。☆令和6年：91% 達成

(2) 様々な体験活動やボランティア活動を通じて豊かな感性を養う。

- ア 特別活動や生徒会活動を通じて生徒の自己有用感を醸成し、浪商高校でリーダーとなる生徒を育てていく。
- イ 生徒が自ら企画・運営できる学校行事を設定し、学校が楽しいと実感できるものにする。

*** 生徒向け学校教育自己診断における「学校行事（文化祭・体育祭など）に楽しく、積極的に参加していますか。」(令和3年95%)を令和6年には100%にする。☆令和6年：93% 未達成

(3) 新学習指導要領への対応（令和3年度全面実施）

- ア 各教科においては、指導内容や指導方法、評価の見直しを図りPDCAサイクルによる授業改善に取り組む。
- イ 未来を生きていく力を育むため、カリキュラムマネジメントを確立し、効果的な教育活動を行う。

*** 生徒向け学校教育自己診断における「先生は教え方に様々な工夫をしていますか。」(令和3年92%)を令和6年には95%以上にする。

☆令和6年：93% 未達成

3 中高一貫教育の推進と魅力ある学校づくり

(1) 6年後の進路を見すえ、計画的継続的教育活動を進め、学習面は言うまでもなく部活動でも生徒の個性を伸ばしすぐれた才能の発見に努め、文武両道教育の一層の充実をめざす。

- ア 生徒・保護者向けの説明会をタイミングよく行い、納得のいくコース決定を行っていく。
- イ スクラップアンドビルドの実践。魅力ある浪商中学校実現ために体制を再構築していく。

*** 生徒向け学校教育自己診断における「学校に来るのが楽しいですか。」(令和3年89%)を令和6年には95%以上にする。

☆令和6年：83% 未達成

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔令和6年11月実施分〕	学校評価委員会からの意見																					
回収率（在籍数 1年34名 2年38名 3年31名 全学年103名） <table><tr><th></th><th>1年生</th><th>2年生</th><th>3年生</th><th>全学年</th><th>R6</th><th>R5</th></tr><tr><td>生徒</td><td>36名</td><td>33名</td><td>29名</td><td>98名</td><td>95%</td><td>92%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>27名</td><td>32名</td><td>22名</td><td>81名</td><td>79%</td><td>83%</td></tr></table> ・生徒はGoogle フォーム、保護者はさくら連絡網で実施。 ・年々保護者の回収率が下がってきているので、回収方法を検討する必要がある。 【生徒アンケート】 アンケート20項目のうち14項目が80%を超える肯定率であった（昨年は20項目のうち16項目）。家庭学習についての項目がここ2年高くなってきた。少しずつ習慣ができてきたか（36%→68%→71%）。 *肯定率が高い項目（R6・R5・R4） ※3年連続90%以上の項目 3. 先生は教え方に様々な工夫をしていますか。（93・95・94%） 8. 本校では、社会のルールや命の大切さを学ぶ機会がありますか。（91・94・96%） 9. 清掃活動をきちんと行っていますか。（92・97・99%） 10. 学校行事（文化祭・体育祭など）に楽しく、積極的に参加していますか。（93・95・99%） 18. 学習でiPadを有効に活用していますか。（94・95・なし%）※R5から *肯定率が低い項目（R6・R5・R4） 17. 図書室を利用していますか。（31・25・27%） 【保護者アンケート】 一昨年は20項目のうち16項目が80%を超える肯定率であったが、昨年度が11項目、今年度が12項目と少し肯定率が低くなってきた。 *肯定率が高い項目（R6・R5・R4） ※3年連続90%以上の項目 9. 学校は保護者の授業参観や懇談会の機会を適切に設けている。（93・97・94%） 10. 先生は保護者からの相談に適切に対応している。（93・92・93%） *肯定率が低い項目（R6・R5・R4） 7. お子さんは入学して、また進級して学習活動に取り組む時間が増えた。（40・49・45%） <td> 【学校関係者評価及び学校診断アンケートの結果報告】 「令和6年度 of 取組内容及び自己評価」、生徒、保護者、教職員の「学校診断アンケート」の資料やグラフに基づき詳細な説明を行った。 1）学校の現状 ・中学は目標35名のところ39名、高校は目標265名のところ270名の新生を迎える予定である。高校は、コースごとでみると充足していないコースもあるが、全体の目標人数には達することができた。 ・近隣中学校からの学校訪問や出前授業の依頼が増えている。また、その実施中学校からの受験も増えている。 ・中高とも生徒が活躍する場面が増え、行事等の満足度も高くなっている。 2）質問・意見 ・肯定率が2～3年続いて低く、改善されていない項目がある。具体的な取り組みを行い、ぜひ改善してもらいたい。 中学について ・アピールポイントになる、体育・スポーツ分野の更なる特化、中高一貫教育による多様な進学への対応、ICT化の推進については、成果がでているようにみえる。 ・めざす学校像の具現化に向けて、中期的な目標も着実に成果をあらわしている。 ・学習活動において、様々なデータから伸長がうかがえる結果が出ているが、進学実績との結びつきはどうか。 ・中高一貫で浪商高校に進学し、国公立大学や有名私立大学に進学していた生徒が多数いる。 ・クラブ活動の実績が毎年高くなっていっているように感じる。 高校について ・スポーツと学習活動の両立が大切だと思うが、両立はできているのか。また、できていない場合、何か具体的な対策はあるのか。 ・自習室の開放や個別対応を行っている。システム化していくことが今後の課題である。 ・ICTの活用や進路実現に向けたガイダンス等の具体的な取り組みはどうか。 ・生徒会の主体的な活動が増えているので、今後も生徒が活躍できる場ををどんどん増やしていく。 ・部活動においては、毎年上位に入賞するクラブが増えてきている。 ・各項目において着実に成果をおさめてきている結果、高い肯定率になっているのではないかと。 開催日： 令和7年3月19日 令和7年6月22日 出席者： 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 校長 工藤哲士 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 教頭 北川浩司 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 教頭 濱田倫史 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 事務長 岸本雅彦 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 入試対策室長 植村大樹 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 主幹教諭 篠山久美子 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 主幹教諭 松田博志 大阪体育大学 スポーツ科学部スポーツ科学科長 手塚洋介 (体育学部スポーツ教育学科長兼任) 大阪体育大学 スポーツ科学部スポーツ科学科長 伊原久美子 (体育学部健康・スポーツマネジメント学科長兼任) 同窓会副会長 古川義高 堀博充税理士事務所 堀博充 </td>		1年生	2年生	3年生	全学年	R6	R5	生徒	36名	33名	29名	98名	95%	92%	保護者	27名	32名	22名	81名	79%	83%	【学校関係者評価及び学校診断アンケートの結果報告】 「令和6年度 of 取組内容及び自己評価」、生徒、保護者、教職員の「学校診断アンケート」の資料やグラフに基づき詳細な説明を行った。 1）学校の現状 ・中学は目標35名のところ39名、高校は目標265名のところ270名の新生を迎える予定である。高校は、コースごとでみると充足していないコースもあるが、全体の目標人数には達することができた。 ・近隣中学校からの学校訪問や出前授業の依頼が増えている。また、その実施中学校からの受験も増えている。 ・中高とも生徒が活躍する場面が増え、行事等の満足度も高くなっている。 2）質問・意見 ・肯定率が2～3年続いて低く、改善されていない項目がある。具体的な取り組みを行い、ぜひ改善してもらいたい。 中学について ・アピールポイントになる、体育・スポーツ分野の更なる特化、中高一貫教育による多様な進学への対応、ICT化の推進については、成果がでているようにみえる。 ・めざす学校像の具現化に向けて、中期的な目標も着実に成果をあらわしている。 ・学習活動において、様々なデータから伸長がうかがえる結果が出ているが、進学実績との結びつきはどうか。 ・中高一貫で浪商高校に進学し、国公立大学や有名私立大学に進学していた生徒が多数いる。 ・クラブ活動の実績が毎年高くなっていっているように感じる。 高校について ・スポーツと学習活動の両立が大切だと思うが、両立はできているのか。また、できていない場合、何か具体的な対策はあるのか。 ・自習室の開放や個別対応を行っている。システム化していくことが今後の課題である。 ・ICTの活用や進路実現に向けたガイダンス等の具体的な取り組みはどうか。 ・生徒会の主体的な活動が増えているので、今後も生徒が活躍できる場ををどんどん増やしていく。 ・部活動においては、毎年上位に入賞するクラブが増えてきている。 ・各項目において着実に成果をおさめてきている結果、高い肯定率になっているのではないかと。 開催日： 令和7年3月19日 令和7年6月22日 出席者： 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 校長 工藤哲士 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 教頭 北川浩司 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 教頭 濱田倫史 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 事務長 岸本雅彦 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 入試対策室長 植村大樹 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 主幹教諭 篠山久美子 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 主幹教諭 松田博志 大阪体育大学 スポーツ科学部スポーツ科学科長 手塚洋介 (体育学部スポーツ教育学科長兼任) 大阪体育大学 スポーツ科学部スポーツ科学科長 伊原久美子 (体育学部健康・スポーツマネジメント学科長兼任) 同窓会副会長 古川義高 堀博充税理士事務所 堀博充
	1年生	2年生	3年生	全学年	R6	R5																
生徒	36名	33名	29名	98名	95%	92%																
保護者	27名	32名	22名	81名	79%	83%																

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価																																			
1 生徒個々に 応じた学力の 向上	(1) 授業力の向上																																						
	ア 「少人数授業」を 活かした、「わかる 授業」の推進	ア・習熟度別授業の充実を図る。 ・生徒の様子（成績含む）を担当や教科 担当で共有し、個々に応じた対応を行 う。 ・「授業アンケート」をもとに教員面談 を実施する。	ア・生徒向け学校教育自己診断に おける「授業はわかりやすいです か。」 （令和5年度 91%）⇒95%に	ア・89%/-2%（△） ほとんどの授業で ICT 機器が活 用されており、生徒の理解度も高 いように感じる。																																			
	イ ICT の活用	イ・iPad、Metamoji Classroom、プロジェ クターを利用した授業が定着してき た。より効果的な使い方を検証してい く。	イ・生徒向け学校教育自己診断に おける「先生は教え方に様々な 工夫をしていますか。」 （令和5年度 95%）⇒100%に	イ・93%/-2%（△） ICT 機器がさまざまな形で使用さ れてきている。学習効果が期待さ れる使い方を研修等で検証して いく。																																			
	(2) 学習意欲の向上と 基礎学力の向上																																						
	ア 家庭学習習慣の 確立	ア・スタディサブリ等の ICT を活用した課 題が増えている。効果的な取り組みを 行い、学習習慣の定着を図る。	ア・生徒向け学校教育自己診断に おける「毎日、家庭学習をして いますか。（塾以外）」 （令和5年度 68%）⇒80%に	ア・71%/+3%（○） 保護者の回答とは乖離している が、生徒の回答は2年連続上昇し た。																																			
	イ 「フォローアップ講 習（浪商塾）」と「ス テップアップ講習」 の充実	イ・フォローアップ講習については、昨年 呼び出し基準を変更した。今年度も定 期考査の点数だけではなく、日常の取 り組み状況もみていく。 ・ステップアップ講習については、受講 者はそんなに多くはいないが、英語と 数学のレベルアップにつなげていく。	イ・学習と部活動の両立ができるよう に普段の取り組みをきちんとさ せていく。 ・実力テストや検定試験での結果に つなげていく。	イ・基準を変更した関係で、丁寧な対 応が難しくなった教科があった。 日常の取り組みについては、別途 指導していく必要がある。（×）																																			
	ウ 各種検定試験に 向けて積極的な 取組み	ウ・検定試験合格率アップのため、授業や 放課後のステップアップ講座で対策 を行う。	ウ・漢字検定または英語検定4級以上 の取得者を増やす。 ・日々の学習が検定試験の結果に つながるように、授業内容や課題 を工夫する。 <u>令和5年度の取得者（4級以上）</u> 漢字検定 22 名 英語検定 14 名	ウ・受検者数が減ってきているが、意 欲手に取り組んでいる生徒のサ ポートを充実させていきたい。 （○） <u>令和6年度の取得者（4級以上）</u> 漢字検定 5 名 <table><tr><td>漢検</td><td>準2級</td><td>3級</td><td>4級</td></tr><tr><td>1年生</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2年生</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3年生</td><td></td><td>1</td><td>4</td></tr></table> 英語検定 26 名 <table><tr><td>英検</td><td>2級</td><td>準 2級</td><td>3級</td><td>4級</td></tr><tr><td>1年生</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>2年生</td><td></td><td>1</td><td>3</td><td>13</td></tr><tr><td>3年生</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr></table>	漢検	準2級	3級	4級	1年生				2年生				3年生		1	4	英検	2級	準 2級	3級	4級	1年生			1		2年生		1	3	13	3年生	1	1	3
漢検	準2級	3級	4級																																				
1年生																																							
2年生																																							
3年生		1	4																																				
英検	2級	準 2級	3級	4級																																			
1年生			1																																				
2年生		1	3	13																																			
3年生	1	1	3	3																																			
(3) 読書活動の推進	図書室の貸出冊数と授業利用時間を アップさせる。 <table><tr><td></td><td>令和 4年度</td><td>令和 5年度</td></tr><tr><td>貸出冊数</td><td>652 冊</td><td>743 冊</td></tr><tr><td>授業利用</td><td>49 時間</td><td>36 時間</td></tr></table>		令和 4年度	令和 5年度	貸出冊数	652 冊	743 冊	授業利用	49 時間	36 時間	・一部の生徒の利用だけではなく、た くさんの生徒が本に触れるような仕 掛けを作っていく。 <u>令和6年度の目標数値</u> 貸出冊数 ⇒750 冊に 授業利用時間 ⇒45 時間に	<u>令和6年度の数値</u> 貸出冊数 1,032 冊/+289 冊（○） 授業利用時間 51 時間/+15 時間（○） 朝学習や授業利用が増えたことで 貸出冊数が大幅に増えた。継続して 本に触れる機会を作っていきたい。																											
	令和 4年度	令和 5年度																																					
貸出冊数	652 冊	743 冊																																					
授業利用	49 時間	36 時間																																					

2	生きる力の育成	(1) 自主自立の精神の育成			
		ア 生徒の規範意識の向上と、教員の組織的・統一的な指導	ア・「浪中ルール」を基に、クラスや生徒集会で生徒の規範意識を高める指導を行っていく。 ・小さな出来事でも関係各署で情報共有を行い、問題事象を早期発見・対応していく。	ア・生徒向け学校教育自己診断における「本校では、社会のルールや命の大切さを学ぶ機会がありますか。」 (令和5年度 94%) ⇒100%に	ア・91%/-3% (△) 少し下がったが、道徳やHRでの取り組みが成果として出ている。
		イ 部活動等の課外活動を推奨	イ・学習と部活動が両立できる環境を作る。 ・本校にないスポーツに取り組んでいる生徒のサポートも積極的に行っていく。	イ・習熟度別授業や放課後学習で学習のサイクルを定着させ、部活動に思いっきり取り組ませる。 ・毎年数名の生徒が学外で活動しているので、その活動を共有し、必要に応じてサポートする。	イ・なかなか学習のサイクルが定着しない生徒がいる中、両立に向けて努力している生徒が多数いる。学内外の活動に関わらず、普段の授業から学習のサポートを行っていく。(△)
		(2) 豊かな感性の育成			
3	中高一貫教育の推進と魅力ある学校づくり	ア 生徒が活躍できる場を多く設け、リーダーになれる生徒を育成	ア・主体性を養うため、学校行事に積極的に関わらせ、自分たちで企画・運営ができるように生徒会の会議を定期的に行う。	ア・月に1回、生徒会委員会を開く。 ・全校集会の進行は生徒会が行う。	ア・生徒会を中心にいろいろな取り組みが増えてきた。(○)
		イ 体験型学習の充実	イ・体験型学習の事前・事後学習をより深いものにする。 ・文化祭等で成果発表を行い、全体にってもらえる機会を作る。	イ・探究型の活動の中で、発表の場や、プレゼンテーション作成の機会を多く取り入れる。	イ・日々の取り組みが、いろいろな行事活かされている。特にオープンスクールでの発表がとても頼もしい。(○)
		(1) 中高一貫教育の充実と発展			
		ア 内部進学者増に向けた取り組み	ア・浪商高等学校の説明をタイミングよく行い、魅力を伝えていく。	ア・内部進学者 90%をめざす。 (令和5年度 68%)	ア・内部進学者 74%/+6% (×) 中高一貫ロードマップを作成し、生徒・保護者に対して、しっかり浪商高校の魅力を伝える。
		イ 安定した入学生の獲得	イ・1クラス 35人募集3年目となり、昨年度からスタートしたスタートするグローバルプログラムとスポーツプログラムを魅力あるものにする。 ・学習面のサポートを充実させ、学習習慣の定着をめざす。	イ・中高大の強みを活かし、他校では実施できないような、魅力あるプログラムにする。 ・少人数での環境を最大限に活かした教育活動を行う。	イ・グローバルプログラムにおいては、オンライン英会話等の独自の活動が定着してきた。(○) ・スポーツプログラムにおいては、独自行事だけではなく、体育祭の企画運営も行い、生徒の自主性を引き出している。(○)
		ウ 生徒の姿が見える募集活動	ウ・各種行事に加え、募集行事においても生徒主体による企画・運営を取り入れ、生き生きとした姿を見てもらえる機会を設ける。	ウ・入試説明会やオープンスクールにおいて、生徒が司会や説明を行う機会を増やした。	ウ・生徒の生き生きとした姿を見ることができ、来校された児童や保護者からの評価も高かった。(○)

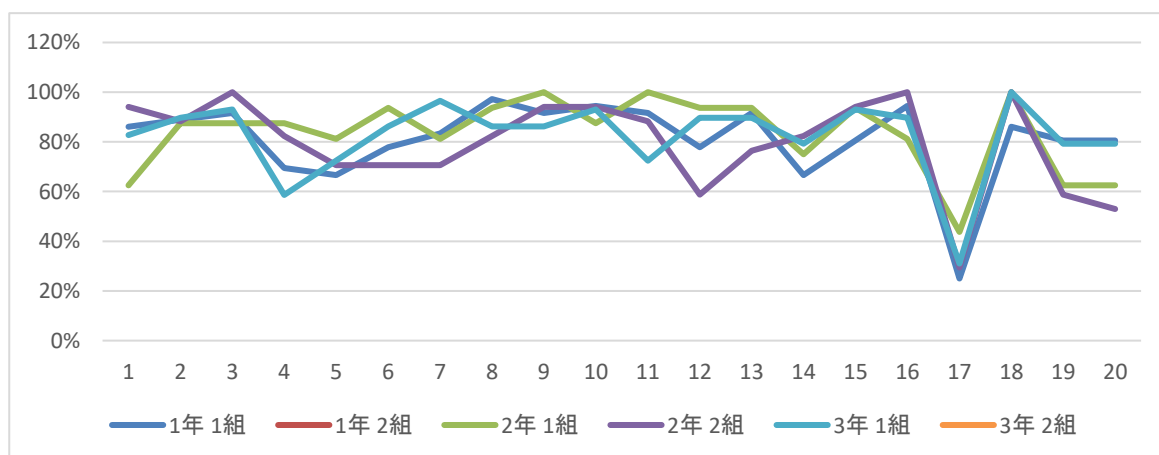
令和6年11月実施

大阪体育大学浪商中学校 令和6年度 本校教育活動に関する調査

【生徒】クラス別 アンケート集計

全学年 回答数 98名(1年:36名、2年:33名、3年:29名) / 在籍数 103名 95%

番号	質 問 事 項	1年		2年		3年	
		1組	2組	1組	2組	1組	2組
1	学校に来るのが楽しいですか。	86%		63%	94%	83%	
2	授業はわかりやすいですか。	89%		88%	88%	90%	
3	先生は教え方に様々な工夫をしていますか。	92%		88%	100%	93%	
4	授業でわからないところを先生に質問していますか。	69%		88%	82%	59%	
5	毎日、家庭学習をしていますか。(塾以外)	67%		81%	71%	72%	
6	学校生活についての先生の指導に納得できていますか。	78%		94%	71%	86%	
7	学校では、将来の進路や生き方について考える機会がありますか。	83%		81%	71%	97%	
8	本校では、社会のルールや命の大切さを学ぶ機会がありますか。	97%		94%	82%	86%	
9	清掃活動をきちんと行っていますか。	92%		100%	94%	86%	
10	学校行事(文化祭・体育祭など)に楽しく、積極的に参加していますか。	94%		88%	94%	93%	
11	部活動に積極的に参加していますか。	92%		100%	88%	72%	
12	部活動の顧問の先生は、面倒をよく見てくれていますか。	78%		94%	59%	90%	
13	自分が困ったり悩んだりしているとき、相談できる友達がいますか。	92%		94%	76%	90%	
14	自分が困ったり悩んだりしているとき、相談できる先生がいますか。	67%		75%	82%	79%	
15	先生は、生徒の頑張りをよく評価してくれていますか。	81%		94%	94%	93%	
16	学校で思いやりの心や人権の大切さを考える機会がありますか。	94%		81%	100%	90%	
17	図書室を利用していますか。	25%		44%	29%	31%	
18	学習でiPadを有効に活用していますか？	86%		100%	100%	100%	
19	地震や火災などの災害時の避難経路を知っていますか。	81%		63%	59%	79%	
20	本校のホームページは中学生にとって魅力ある情報発信を行っていますか。	81%		63%	53%	79%	



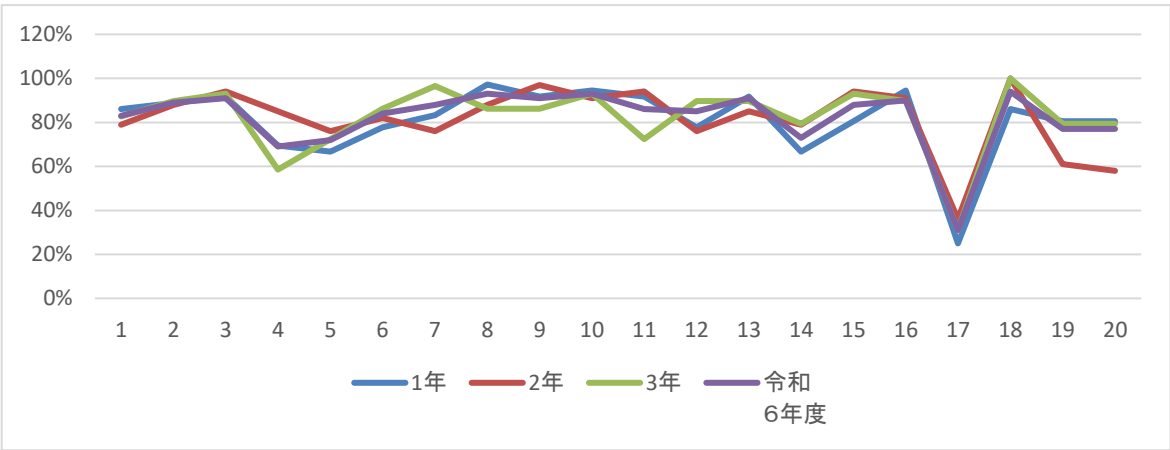
【生徒】学年別 アンケート集計

全学年 回答数 98名(1年:36名、2年:33名、3年:29名) / 在籍数 103名 95%

番号	質 問 事 項	肯定率					
		1年	2年	3年	令和 6年度	令和 5年度	令和 4年度
1	学校に来るのが楽しいですか。	86%	79%	83%	83%	86%	88%
2	授業はわかりやすいですか。	89%	88%	90%	89%	91%	85%
3	先生は教え方に様々な工夫をしていますか。	92%	94%	93%	91%	95%	94%
4	授業でわからないところを先生に質問していますか。	69%	85%	59%	69%	72%	71%
5	毎日、家庭学習をしていますか。(塾以外)	67%	76%	72%	72%	68%	36%
6	学校生活についての先生の指導に納得できていますか。	78%	82%	86%	84%	90%	85%
7	学校では、将来の進路や生き方について考える機会がありますか。	83%	76%	97%	88%	81%	87%
8	本校では、社会のルールや命の大切さを学ぶ機会がありますか。	97%	88%	86%	93%	94%	96%
9	清掃活動をきちんと行っていますか。	92%	97%	86%	91%	97%	99%
10	学校行事(文化祭・体育祭など)に楽しく、積極的に参加していますか。	94%	91%	93%	93%	95%	99%
11	部活動に積極的に参加していますか。	92%	94%	72%	86%	85%	84%
12	部活動の顧問の先生は、面倒をよく見てくれていますか。	78%	76%	90%	85%	82%	80%
13	自分が困ったり悩んだりしているとき、相談できる友達がいますか。	92%	85%	90%	91%	88%	91%
14	自分が困ったり悩んだりしているとき、相談できる先生がいますか。	67%	79%	79%	73%	83%	78%
15	先生は、生徒の頑張りをよく評価してくれていますか。	81%	94%	93%	88%	90%	95%
16	学校で思いやりの心や人権の大切さを考える機会がありますか。	94%	91%	90%	90%	88%	96%
17	図書室を利用していますか。	25%	36%	31%	31%	25%	27%
18	学習でiPadを有効に活用していますか？	86%	100%	100%	94%	95%	
19	地震や火災などの災害時の避難経路を知っていますか。	81%	61%	79%	77%	76%	59%
20	本校のホームページは中学生にとって魅力ある情報発信を行っていますか。	81%	58%	79%	77%	84%	74%

全体平均 81% 82% 82% 82% 83% 80%

※肯定率:A(よくあてはまる)+B(ややあてはまる)の全体に対する割合



令和6年11月実施
大阪体育大学浪商中学校 令和6年度 本校教育活動に関する調査

【生徒】クラス アンケート集計

全学年 回答数 98名(1年:36名、2年:33名、3年:29名) / 在籍数 103名 95%

番号	質 問 事 項	回答	1年			2年			3年			全体
			全体	1組	2組	全体	1組	2組	全体	1組	2組	
1	昨日の夜は、しっかり睡眠をとりましたか？	はい	31	31		24	13	11	20	20		75
		いいえ	5	5		9	3	6	9	9		23
2	今日は、朝ごはんを食べてきましたか？	はい	30	30		28	12	16	26	26		84
		いいえ	6	6		5	4	1	3	3		14

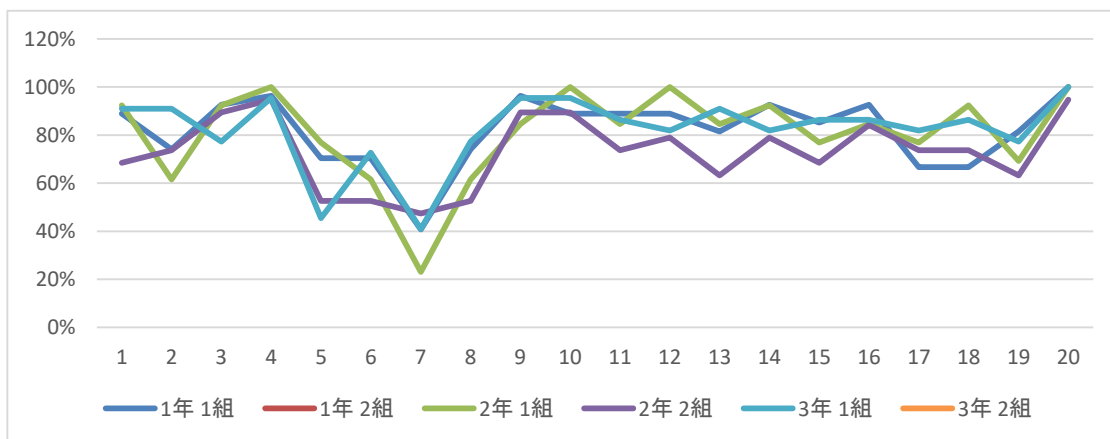
令和6年11月実施

大阪体育大学浪商中学校 令和6年度 本校教育活動に関する調査

【保護者】クラス別 アンケート集計

全学年 回答数 81名(1年:27名、2年:32名、3年:22名) / 在籍数 103名 79%

番号	質 問 事 項	1年		2年		3年	
		1組	2組	1組	2組	1組	2組
1	お子様は学校に行くのが楽しいと言っている。	89%		92%	68%	91%	
2	お子様は先生の学習指導はていねいだと言っている。	74%		62%	74%	91%	
3	お子様は部活動に積極的に参加している。	93%		92%	89%	77%	
4	お子様は文化祭や体育祭などの学校行事に積極的に参加している。	96%		100%	95%	95%	
5	お子様は学校からの配付文書を渡している。	70%		77%	53%	45%	
6	お子様は学校生活についてよく話をする。	70%		62%	53%	73%	
7	お子様は入学して、また進級して学習活動に取り組む時間が増えた。	41%		23%	47%	41%	
8	学校は教育方針をわかりやすく伝えている。	74%		62%	53%	77%	
9	学校は保護者の授業参観や懇談会の機会を適切に設けている。	96%		85%	89%	95%	
10	先生は保護者からの相談に適切に対応している。	89%		100%	89%	95%	
11	私は学校の生徒指導の方針について理解している。	89%		85%	74%	86%	
12	学校では、社会のルールや命の大切さを学ぶ機会がある。	89%		100%	79%	82%	
13	先生はいじめや暴力行為が起こらないよう取り組んでいる。	81%		85%	63%	91%	
14	先生は子どもの能力や努力を認め公平に評価している。	93%		92%	79%	82%	
15	私は子どもをこの学校に入学させたことに満足している。	85%		77%	68%	86%	
16	学校や先生は事故防止や危機管理に取り組んでいる。	93%		85%	84%	86%	
17	地震や台風など災害時に、どう対応すればいいか知らされている。	67%		77%	74%	82%	
18	学校は保護者会活動などを通じて、保護者の意見を取り入れ、学校生活を改善している。	67%		92%	74%	86%	
19	本校のホームページは保護者にとって魅力ある情報発信を行っている。	81%		69%	63%	77%	
20	学校からの連絡は、さくら連絡網で適切に行われている。	100%		100%	95%	100%	



【保護者】学年別 アンケート集計

全学年 回答数 81名(1年:27名、2年:32名、3年:22名) / 在籍数 103名 79%

番号	質 問 事 項	肯定率					
		1年	2年	3年	令和 6年度	令和 5年度	令和 4年度
1	お子様は学校に行くのが楽しいと言っている。	89%	78%	91%	85%	80%	83%
2	お子様は先生の学習指導はていねいだと言っている。	74%	69%	91%	77%	78%	77%
3	お子様は部活動に積極的に参加している。	93%	91%	77%	88%	79%	81%
4	お子様は文化祭や体育祭などの学校行事に積極的に参加している。	96%	97%	95%	96%	89%	93%
5	お子様は学校からの配付文書を渡している。	70%	63%	45%	60%	66%	63%
6	お子様は学校生活についてよく話をする。	70%	56%	73%	65%	78%	78%
7	お子様は入学して、また進級して学習活動に取り組む時間が増えた。	41%	38%	41%	40%	49%	45%
8	学校は教育方針をわかりやすく伝えている。	74%	56%	77%	68%	74%	80%
9	学校は保護者の授業参観や懇談会の機会を適切に設けている。	96%	88%	95%	93%	97%	94%
10	先生は保護者からの相談に適切に対応している。	89%	94%	95%	93%	92%	93%
11	私は学校の生徒指導の方針について理解している。	89%	78%	86%	84%	87%	84%
12	学校では、社会のルールや命の大切さを学ぶ機会がある。	89%	88%	82%	86%	88%	91%
13	先生はいじめや暴力行為が起こらないよう取り組んでいる。	81%	72%	91%	80%	83%	91%
14	先生は子どもの能力や努力を認め公平に評価している。	93%	84%	82%	86%	83%	86%
15	私は子どもをこの学校に入学させたことに満足している。	85%	72%	86%	80%	87%	84%
16	学校や先生は事故防止や危機管理に取り組んでいる。	93%	84%	86%	88%	89%	95%
17	地震や台風など災害時に、どう対応すればいいか知らされている。	67%	75%	82%	74%	79%	88%
18	学校は保護者会活動などを通じて、保護者の意見を取り入れ、学校生活を改善している。	67%	81%	86%	78%	78%	81%
19	本校のホームページは保護者にとって魅力ある情報発信を行っている。	81%	66%	77%	74%	79%	87%
20	学校からの連絡は、さくら連絡網で適切に行われている。	100%	97%	100%	99%	99%	87%

全体平均 82% 76% 82% 80% 82% 83%

※肯定率:A(よくあてはまる)+B(ややあてはまる)の全体に対する割合

